

共に学ぶ



学校へ行こう

南部中

校長 佐橋 正司

全校生徒数 229人

男子：121人 女子：108人

問合せ ☎62-6811

「地域と共に成長できる学校」を目指して

南部中学校では、地域に学び、地域を愛し、地域と共に成長しようとする積極的に交流を深めています。

一年を通して、たくさんの方々の活動で地域の方々とふれあいをしていますが、ここでは、1学期に行った、2つの活動について紹介をします。

地域の方々と楽しく交流！

平成11年度から始まった交流会活動も、今年で8年目を迎えました。はじめは7つだった講座数も、現在では12に増えました。

交流会活動とは、地域から講師の先生をお招きし、全校生徒が、学年の枠を越え、人間関係を大切にしながら、共通の関心のもとに、

自主的に参加する活動です。

第1回の交流会では、50人を越える講師の先生からご指導を頂き、充実した時間を過ごすことができました。

本年度は、手話・点字・陶芸・コンピュータ・伝承遊び・ゲートボール・日本舞踊・ちぎり絵・茶道・箏・和太鼓・華道の講座に分かれて、年5回の活動を行います。

最終回には、それぞれの講座の発表の場を設け、全校で一年の学びの成果を紹介し合う予定です。



華道の様子

初めての生け花をやって難しかったです。講師の先生がバランスを整えてくださったら、オーラが出て、すごいなあと思いました。

(生徒の感想より)

「睡眠は心と体の栄養」

6月には、保護者と全校生徒が

一堂に会し、学校保健委員会を行いました。今回のテーマは、「睡眠は心と体の栄養」で、睡眠に関する南中生の実態調査の結果を、生徒保健委員が劇やクイズを交え、保護者と生徒がいつしよに考えるスタイルをとりました。

会のしめくくりとして、西尾市教育委員会の森英子先生から「睡眠に支配される命」という演題でお話をしていただき、有意義な時間を過ごすことができました。



クイズに答える生徒たち

1週間に1回、12時前に寝る日があれば、体内時計はリセットできると教えてもらったので、これから心がけてみようと思います。

(生徒の感想より)



図工室から見た南館と体育館



6年 伊吹 拓馬くん



いろいろな色がまざった木



3年 神谷 好美さん

先生から 構図や色の塗り方を工夫し、木の力強さがよく表現されています。枝の曲がっている様子をよく見て、上手に描けました。



先生から 新しい南館を斜めにしたり、近くにおいたヘルメットをはっきりと描くことによって、遠近感を出しています。拓馬君の思い出がまった作品です。

職場体験 レポート



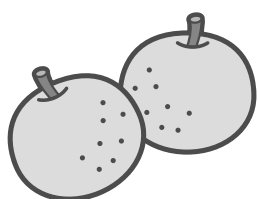
幸田中 2年
いがりゅうと
伊賀 龍斗くん

職場体験で学んだこと

僕が、「人のために働いて、人のために頑張る」のは、今回の職場体験学習が初めてでした。僕が体験した職場は梨農家の鴨下さんで、梨の収穫を手伝いました。体験場所が決まった時は、「梨農家の人たちと上手にやれるだろうか」「お客様に買っていただけるように収穫ができるだろうか」と心配でした。

しかし、事前の打ち合わせで訪ねた時、鴨下さんから、「梨はね、すぐに傷がついて傷んでしまうんだよ。人間だと思っただけでね。」と言われて「はっ」としました。僕は、梨をただの品物としか見ていませんでした。職場体験中は、一つ一つ大きさや形が違う梨を、できるだけ丁寧に扱い、商品価値

が下がらないように細心の注意を払って仕事に取り組みました。鴨下さんが教えてくださった言葉と今回の体験を忘れずに、これからの中学校生活を送っていきたいと思います。



ハッピネス情報

町民会館・図書館・町民プール

ハッピネス・ヒル・幸田
ホームページ

<http://www.happiness.kota.aichi.jp/>

スポーツの秋！体力測定＆タイム記録会！



タイム記録会
10月14日(土)
体力測定
(事前申込が必要)
10月15日(日)

プールでは、スポーツの秋にちなみ、下記の日程で体力測定＆タイム記録会を開催いたします。好結果を出された方には、それぞれにプレゼントをご用意しておりますので、ぜひご参加ください。参加費は無料ですが、タイム記録会のみ入場料が必要です。詳しくは、プールまでお問い合わせください。

10・11月の
休館日
(10/16・11/15)

町民会館 ☎63-1111 10/16(月)、10/23(月)、10/30(月)、11/6(月)、11/13(月)～15(水)
図書館 ☎63-0001 10/16(月)、10/23(月)、10/30(月)、10/31(火)、11/6(月)、11/13(月)
町民プール(☎56-8111) 10/16(月)、10/23(月)、10/30(月)、11/6(月)、11/13(月)



この本読みました

『どうぶつたちへの
レクイエム』

児玉 小枝 / 著 日本出版



坂崎小 5年
あしかわ まお
芦川 真央さん

なぜ大人は、犬や猫を簡単な気持ちで保健所にもちこむのだろうか。犬や猫も人間と一緒に大切な命があるのに……。私がもし保健所の人だったらこの犬や猫の命や心を救いたいと何度も何度も思いました。